

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年6月4日

## いま日本で、新型コロナはどれくらい流行しているのか？

### 下水モニタリングの重要性

【松崎雑感】

新型コロナがどんどん増えています。その証拠を示します。下水のウイルスの遺伝子を定量すると、感染状況がとてもの確に同定できます。covidをキーワードとした情報分析データが感染者数を高い正確度で予測できていましたが、もう一つの感染モニタリング情報である下水モニタリングも、同様な結果が出されています。下水モニタリングをしっかりと実行している自治体はそれほど多くないと思いますが、インフルエンザなどの感染症のモニタリングにもとても重要なデータですので、この手法を全国に展開することが必要です。思わぬ感染症の流行がキャッチできます。先進国では根絶されたポリオ（小児麻痺）の予想外の発生が下水モニタリングで発見され大事に至らなかったというケースも最近報告されています。

## いま日本で、新型コロナはどれくらい流行しているのか？

毎日の感染者数の報告制度がなくなり、新型コロナが増えているのか減っているのかわからなくなりました。

しかし、感染者数の報告制度があった時期、ワクチンメーカーのモデルナ社は、新型コロナ（covid 19）というキーワードで情報検索を行った結果（間接的推計値）と実際の感染者数を突き合わせて、極めて良好な相関がみられたことをベースに、現在も、この作業が行われています。

次スライドは、6月はじめまでのモデルナ社の新型コロナ発生数の推計（オレンジ色で表示）です。青線の公表値と極めて良好な相関があることがわかります。春から新型コロナが増えているという事です。

更新日: 2023/6/3

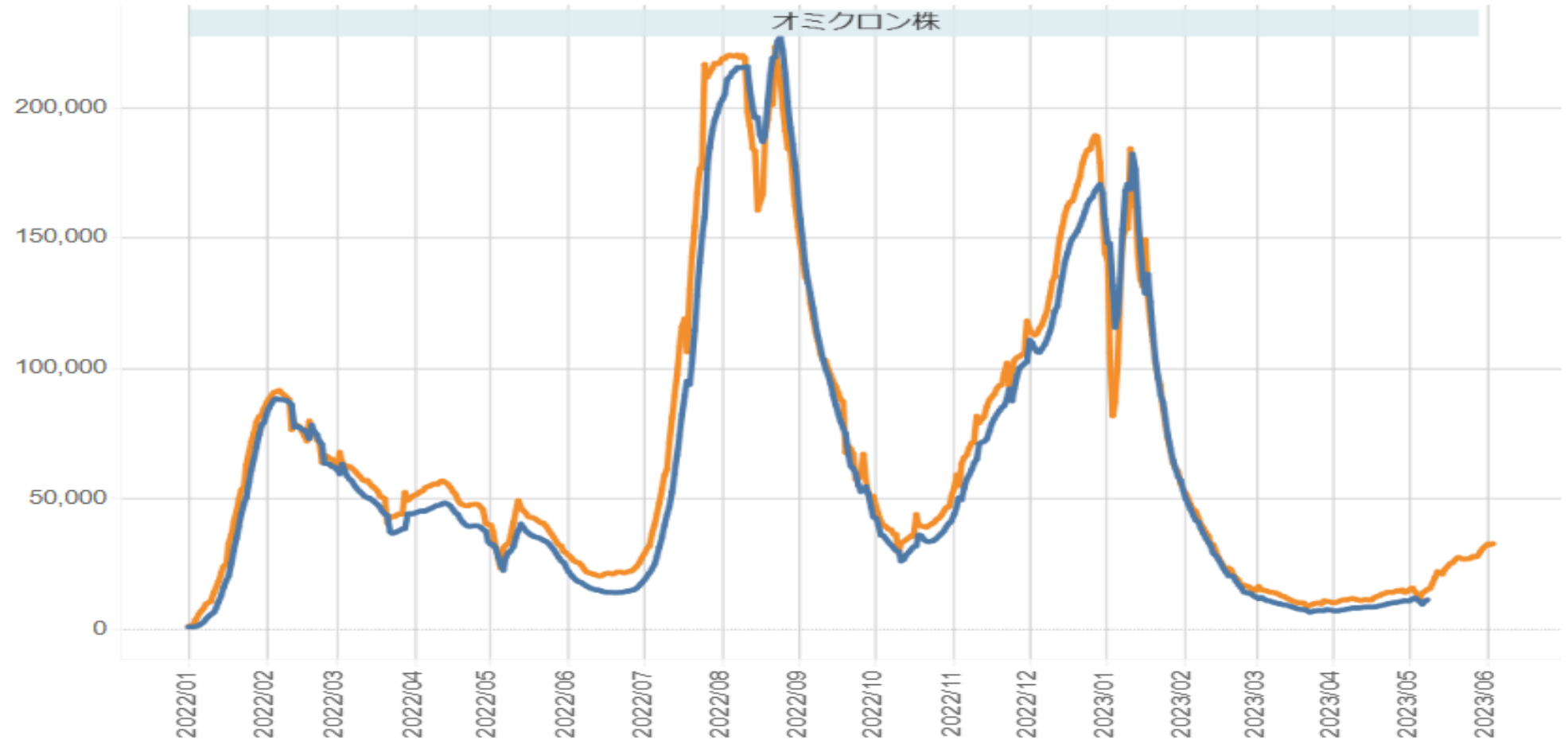
## 新型コロナ患者数推移【全国】

2022/01/01

2023/06/03

■ 公表値

■ 推計値



- ・推計値は、JAMDASにおいて「コロナウイルス感染症」「COVID-19」などの傷病名がついた患者数をもとに、全国の患者数を推計しています。医療機関における診断日ベースでの推計値です。
- ・公表値は、厚生労働省公開のオープンデータ (<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>) から引用しています。国が定める、報告日ベースでの公表値です。
- ・7日間移動平均値を表示しています。

# 下水モニタリングで新型コロナの流行状況がわかる

このモデルナデータの妥当性を裏付けるデータを示します。それは下水モニタリングです。下記は札幌市の下水モニタリングの最新データです。モデルナトレンドと同じく、札幌市でも5月から感染者が増えていることを裏付けています。札幌市の下水モニタリングは、過去の新型コロナ感染者数と極めて高く一致しています。下水モニタリングとモデルナデータが合致していることがわかります。

下水サーベイランスの結果（新型コロナウイルス）

